

情報氾濫時代における

新聞の役割と活用法

日々のできごとを素早く入手することができる媒体として、新聞は長年にわたって活用されてきました。近年はインターネット上でも様々な情報を入手できるようになりましたが、新聞は今なお「信頼できる情報媒体」のひとつとして評価されています。

今回は報道イノベーション研究所代表の松林薫氏にお越しいただき、新聞記事とネットニュースとの違いや情報の活用方法、また新聞を読むときに心掛けておくことなどをご講演いただきます。

講師

報道イノベーション研究所
代表 松林 薫 氏



日時

平成30年11月15日(木)
17:00~18:30

場所

図書館1階 Lib. commons
(図書館ホール)

対象

学生・教職員・一般

定員

150名・申込不要 (無料)

講師プロフィール

1973年、広島市生まれ。京都大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修了。

1999年、日本経済新聞社入社。経済解説部、経済部、大阪経済部、経済金融部で経済学、金融、証券、社会保障、エネルギー、財界などを担当。

2014年10月退社、同年11月報道イノベーション研究所設立。

著書に『新聞の正しい読み方』（2016年、NTT出版）『「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方』（2017年、晶文社）『迷わず書ける記者式文章術』（2018年、慶應義塾大学出版会）。共著多数。

主催：京都産業大学図書館
お問い合わせ：Tel 075-705-1446